

古谷 壽子さん  
ふるたに ひさこ

大阪市学童指導員労働組合は、公務員サービスを担う学童保育指導員の誇りを掲げ、自治労連結成に呼応して1989年10月に結成されました。そして昨年6月、初の女性委員長に選出された古谷さんに決意と抱負をお聞きしました。

職場は西成区の青空学童保育所です。子どものころに市内の学童保育所で育って、将来は子どもと接する仕事に就きたいと思っていました。短大の時に幼稚園の実習へ行った時、言葉づかいなどで「上品すぎる！少し違うぞー」と幼稚園教師の道を断念。学童保育指導員の道へ進みました(笑)。

良くならない。社会で起きていることを理解しないと、子どもや保護者の生活は理解できない。本質的な学習をしないと学童の仕事はできないぞー」とさん言われました。

所としての限界を感じますが、指導員が働き続けられるために大阪市への補助金の増額をもとめる署名行動などを地域で保護者が行なっています。また、毎月大阪市役所で宣伝をしています。格差と貧困がすすむ中、救いの手を差し伸べている子どもがたくさんいるのに、応えられていません。私たちの役割は多

# いろいろな人とながって 仕事の本質が見えてきました



「厳しい状況だからこそ視野を広く持たなくては」と笑顔で抱負を語る古谷さん

狭い視野では  
いい仕事はできない

働く前は、「子どもたちと一緒に遊んでいればいい」と甘く考えていたのですが、子どもを目の前にすると全然違って、無我夢中でした。先輩からは「どんな会議や学習会でも参加した方がいいよ。いろいろな人とつながって、それが学童の仕事に必ず活かされるから」と言われました。さらに「学童だけ見ている、子どもたちの環境は

先輩の教えを守って、職場を中心に活動をしてきましたが、組合役員の退職などもあり数年前に執行部に入り、昨年初の女性委員長に選出されました。

今こそ「権利としての学童保育が求められたい」

大阪市内でも共同学童保育所が運営できなくて、学童保育の数が減ってきています。春闘では労働組合として、それぞれの学童で要求書を提出しています。共同学童保育

く子どもや保護者とながって、大阪市内で子どもが安心して過ごせる場所を増やし、守っていくことです。職場では正規職員も減り、組合員が一人だけの職場もたくさんあります。だからこそ、仕事に追われて視野が狭くなってしまわないように、労働組合の役割はますます大切になっていくと思います。仲間を増やし、市民と共同して、大阪市の学童保育の拡充に向けてがんばっていきます。

# みんなの力で政治を変えよう!



第87回  
大阪メーデー



「戦争に勝ってバレー」

5月1日大阪市の扇町公園に8000人が集まり、第87回大阪メーデーが開催されました。戦争法廃止と立憲主義・民主主義の回復、個人の尊厳を求める国民運動を大きく発展させ、安倍暴走政治とそれに追従する政治勢力にレッドカードを突きつけていくことを呼びかけました。また、実質賃金が4年連続でマイナスとなり、国民生活は苦しさを増しています。大企業の内部留保が300兆円を突破し、富裕層に富が集中しています。今こそ、大幅賃上げと雇用の安定、人間らしく働くルールが求められています。働く仲間の団結で、たにかいを大きくすすめていきましょう。

デモグラフィック  
ストで2位の大阪府職労は「最賃時給1500円で  
ケーキ回復」

